

みずほCustomer Desk Report 2023/03/24 号 (As of 2023/03/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	130.97 AUD/USD
TKY 9:00AM	131.18	1.0870	142.64	1.2280	0.6697
SYD-NY High	131.66	1.0930	143.17	1.2341	0.6756
SYD-NY Low	130.32	1.0825	141.17	1.2263	0.6670
NY 5:00 PM	130.87	1.0832	141.76	1.2285	0.6687

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,105.25	75.14	日本2年債	▲0.0600%	0.0000%
NASDAQ	11,787.40	117.44	日本10年債	0.2900%	▲0.0300%
S&P	3,948.72	11.75	米国2年債	3.8225%	▲0.1352%
日経平均	27,419.61	▲ 47.00	米国5年債	3.4299%	▲0.1013%
TOPIX	1,957.32	▲ 5.61	米国10年債	3.4117%	▲0.0374%
シカゴ日経先物	27,095.00	45.00	独10年債	2.1875%	▲0.1380%
ロンドンFT	7,499.60	▲ 67.24	英10年債	3.3520%	▲0.0950%
DAX	15,210.39	▲ 5.80	豪10年債	3.3010%	▲0.0310%
ハンセン指数	20,049.64	458.21	USDJPY 1M Vol	11.98%	0.05%
上海総合	3,286.65	20.90	USDJPY 3M Vol	12.93%	0.19%
NY金	1,995.90	46.30	USDJPY 6M Vol	11.95%	0.18%
WTI	69.96	▲ 0.94	USDJPY 1M 25RR	▲1.65%	Yen Call Over
CRB指数	257.78	▲ 0.87	EURJPY 3M Vol	12.82%	0.14%
ドルインデックス	102.53	0.19	EURJPY 6M Vol	12.04%	0.13%

東京	東京時間のドル円は131.18レベルでオープン。FOMCの結果を受け、今後の利上げ停止への思惑が強まる中、米金利低下の流れからドル円はじりじりと値を下げ130.42まで下落。米金利低下が一服すると、多少ドルが買い戻されるも戻りは限定的となり、その後は特段材料もない中130円後半の狭いレンジで推移し、130.68レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、130.68レベルでオープン。米金利が金利上昇したこともあり、東京時間の下げを戻すような形で買い圧力がかかり、結局131.28レベルでNYに渡った。欧州株はイレイン米財務長官による預金保護撤回の発言を受けて銀行株を中心に下落し、リスクオフで安全資産であるドルが買われユーロは売られた。ポンドドルは1.2335レベルでオープン。全体としてはユーロドルと同じく下落基調であったが、正午にBOEの利上げを控えて時折買い優勢となり、結局1.2306レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は131円台半ばでスタート。海外時間では前日パウエルFRB議長の米FOMC記者会見内容やイレイン米財務長官が今後銀行の全額預金保護拡大を否定する発言をしたことからドル売りが優勢となり130.42まで下落するが、その後米金利上昇を背景にドル円も反発し131.28レベルでNYオープン。朝方に発表された米失業保険継続受給者数が予想を上回ったものの、米新規失業保険申請件数は予想を下回り、市場は一時ドル買いで反応し131.66まで買い戻されるもその後小幅反落。続いて発表された米2月新築住宅販売件数は前月比1.1%増で3か月連続の増加となり市場はドル買いで反応し131.34まで小幅上昇するもその後伸び悩み130.97まで反落。午後米ドル売りが続き130.66まで下落し、その後イレイン米財務長官の「正当化される場合は預金保護で追加措置の用意」との発言が一時好感を受け131.05まで急伸する場面も見られたが、前日の証言と一貫性を欠いていることから嫌気され、再び失速し、米金利低下と共に下落。引けにむけて米金利が上昇したことで小幅に戻し130.87レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。アジア時間では前日NY市場の流れを引き継ぎドル売り優勢でユーロドルは1.093まで上昇するも、その後欧州時間に入るとドルが買い戻されたことからユーロドルは反落し1.0877レベルでNYオープン。朝方は欧州株式市場が堅調に推移する動きに下値をサポートされじり高で推移、その後発表されたユーロ圏3月消費者信頼感(速報値)は予想を下回ったもののユーロ売り材料とはならず、ユーロドルはそのまま堅調に推移し1.0908まで値付け。しかし、午後に市場がリスク回避の円買いに転じるとユーロ円の下落にユーロドルは1.09台を維持することは出来ず1.0825まで反落。終盤は横ばいで推移し、1.0832レベルでクローズ。

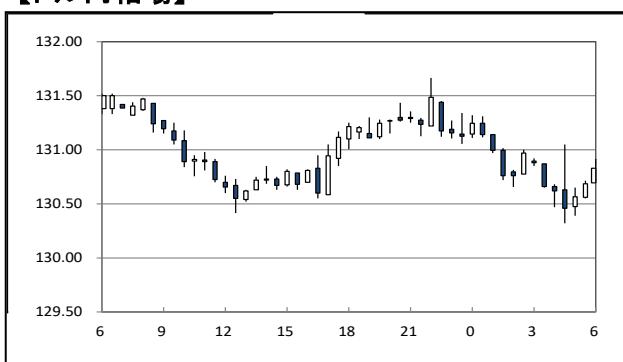
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月23日	21:30	米 新規失業保険申請件数	18-Mar 191k	197k
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	2月 -0.19	0.1
	23:00	米 新築住宅販売件数	2月 640k	650k
3月24日	00:00	欧 消費者信頼感・速報	3月 -19.2	-18.2

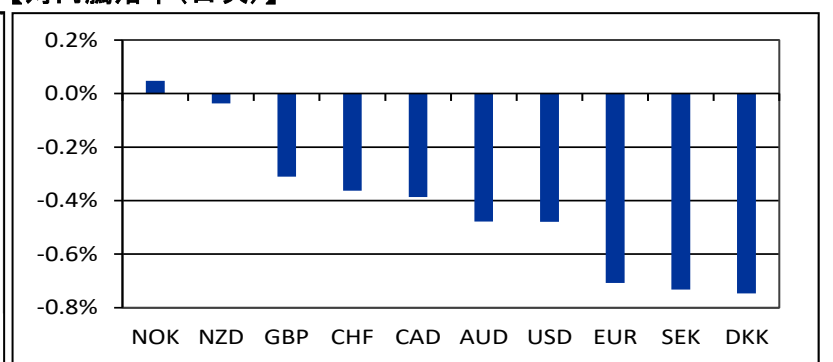
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月24日	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	2月 0.2%/-4.8%	0.4%/-5.3%
	17:30	独 製造業PMI・速報	3月 47.0	46.3
	17:30	独 サービス業PMI・速報	3月 51.0	50.9
	17:30	独 コンポジットPMI・速報	3月 51.0	50.7
	18:00	欧 製造業PMI・速報	3月 49.0	48.5
	18:00	欧 コンポジットPMI・速報	3月 52.0	52.0
	18:00	欧 サービス業PMI・速報	3月 52.5	52.7
	18:30	英 製造業PMI・速報	3月 49.7	49.3
	18:30	英 サービス業PMI・速報	3月 53.0	53.5
	18:30	英 コンポジットPMI・速報	3月 52.7	53.1
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	2月 0.20%	-4.50%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	2月 0.20%	0.80%
	22:45	米 製造業PMI・速報	3月 47.0	47.3
	22:45	米 サービス業PMI・速報	3月 50.3	50.6
	22:45	米 コンポジットPMI・速報	3月 49.5	50.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.00-131.50	1.0720-1.0920	140.50-142.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は下落する展開。前日の米FOMCの結果を受けた米金利低下とともに、ドル売り円買いの動きが強まり、ドル円は海外時間に2月10日以来約1か月半ぶりの水準となる一時130.32まで下落。クローズは130.87レベル。 本日のドル円相場は引き続き下落リスクに警戒。米銀の破綻に起因する市場の不安心理は収まっておらず、リスク回避傾向から円が買われやすい地合いは続く予想。今週の米FOMCでパウエル議長は「銀行破綻の影響は利上げと同様な効果を持つ」と述べ、金融環境のタイト化懸念から米FRBの利上げ停止に近いとの見方が強まっていることも、ドルの上値を抑える要因になりそう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・大橋